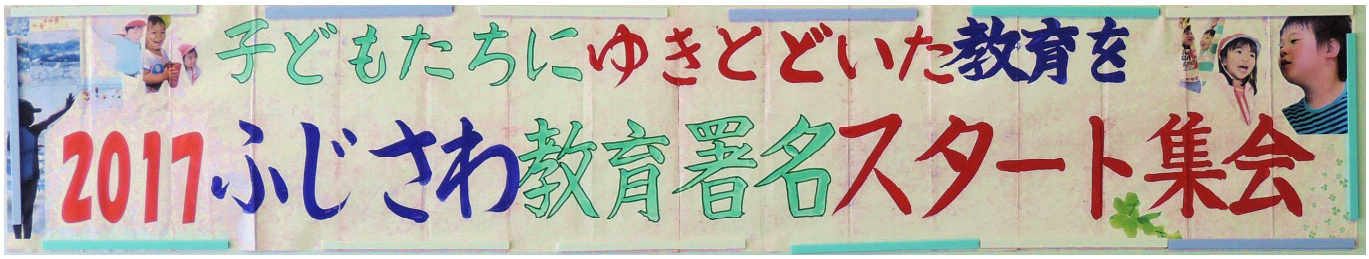
ふじさわネット通信

2017年11月　第30号

発行　みんなの教育・ふじさわネット
代表　松本　一郎
TEL･FAX　0466-33-4820



2017ふじさわ教育署名スタート集会　感想紹介

9月2日、みんなの教育･ふじさわネットは、30 人学級を実現させるふじさわの会、新日本婦人の会藤沢支部と共催で藤沢市民会館第2会議室を会場に教育署名スタート集会を開催しました。小学校現場教師の報告「子どもたちが豊かに学べる学校に」と「(中学校)教師だった夫を過労死で亡くした妻からの訴え」とを聞き、過酷な勤務実態とその改善のための取り組みについて意見交換を行いました。30 人学級を実現させる藤沢の会からの署名取り組みへの提起の後、13 人が藤沢駅サンパール広場で宣伝と署名活動を行い、40 筆の署名を得ました。

ふじさわ教育署名スタート集会(9 月 2 日)

寄せられた感想から　「若い人が立ち止まって聞き、署名してくれた」

現場の小学校の先生の多忙化を、現実問題として、実際、つかむことができた。日本の子どもたちが過度な競争にさらされている(国連子どもの権利委員会)と指摘されている日本の教育制度と内容は、教師にも過度な労働を強いていた。実際、働き方は、どうなのか、という話は、講師のお二人とも、話は聞いてとてつもなく深刻だった。つらかった。文科省の全国調査での、もう限界の働き方が、現場からの話で、リアルによくわかった。もうほっとくわけにはいかない、と思った。

この労働実態、そして、過労死までに至る働き方を放置してきた責任を、みんなが話し合い、何が原因なのか、考えあった時間となった。加藤県議の話のようにより広いところで、運動している姿に、私自身、何をしなければいけないか、背中をおされるようだった。このようなお二人の話を、各地で各所でしていく事が大切だと思った。

16 時から1時間ほど、サンパール広場で、教育署名を行った。元教員が「自分たちの時から、何にも変わっていない。」と怒りながら、署名に応じてくれた。赤ちゃんを抱いた現職の若い教員は夫婦で署名してくれた。「少人数学級よくわかります。今は、この子が保育園には入れずに、育休を延ばそうと思っています。育鵬社の教科書も、内容を見るとホントに変ですね」と署名しているわずかな時間でも、話しを聞き、訴えることもできた。給付型奨学金のことも、若い人が立ち止まって聞き、署名してくれた。いろな人との出会いがあった。全体で 40 筆もの署名が集まった。これからですね。

「現場からの報告」も中野さんの報告も具体的でわかりやすかった。それにしても、学校現場の多忙化は年々ひどくなってきているのではないか。「教育現場にゆとりがなくては子どもは、まともに育たない。」これは鉄則である。どうして、世の中はこのように逆行ばかりしていくのだろう。こうした現場に「道徳教育」だ「外国語教育」だとせめてくる。・・・・・ため息ばかりである。しかし、わたしたちの一つ一つの行動の積み重ねで改善されてきている面もあるという報告もあった。救いである。がんばろう。

教育（授業料）の無償化では神奈川は大きく遅れていることが分かった。それを進めることが大事だと思います。世界的に日本は教育の仕事（教員）の時間が分かりました。これも改善しないと教員の健康が心配だし、子どもの教育にも影響が出る。部活の時間にも問題あり。「過労死ライン」月 100 時間超の残業、中学校教員で8割を知りびっくり。これも改善が必要。新聞にも出たりしているが、小学校から外国語教科、特に英語の授業はそう簡単には行かないことが現実的な問題と分かった。私感ですが、小学校だけでも日本語の教育充実が優先すると思う。

教員の人数を増やさないと、今の教員に負担がかかりすぎる。人生の基本は教育であると思うので、官僚の作った教育方針は、あまりにも現実を知らなさすぎる。これでは本当の教育改革にはならない。大分前になりますが、ゆとり教育が話題になり、本当に先生も生徒もゆとりがあるのかなとも思っていましたが、現実はとんでもない状況がよく分かりました。教育にはもっと予算をつけて、大改革が必要であるとよく分かりました。

子どもが 40 人いるクラスの先生の報告を聞いて、本当に 30 人学級が必要であることを改めて実感しました。私も体験者として、その頃のことを思い出しました。教室に 40 人いると机といすを並べただけでもすき間がありません。給食のとき、友だちとぶつかってこぼす。書写のとき、机の上がいっぱいになり墨汁をこぼす。図工のとき、絵の具を広げると場所がなくなり、何人かは廊下に出てもらう、など私と同じ体験をしているなと思いました。授業の集中力もありませんでした。

さらに、新学習指導要領の英語や道徳の教科化などで、先生だけでなく子どもたちにとっても負担が大きくなります。 6 時間目の授業は小学生にとって集中力に限界があります。クラスや学校が荒れる原因にもなっていきます。

30 人になった時もありました。 10 人少なくなると、授業の集中力が高まりました。授業の中で子どもの発言回数がふえたり、確かめのプリントもその場ですぐ〇がつけられて、つまずいている子もその時間内で指導することもできました。

今の 40 人学級を 35 人学級に、さらに 30 人学級にしていくことは、一人ひとりの子どもにていねいな指導を行うために欠かせない教育条件です。

教職員の過重労働も問題になっています。条件付きの非正規教職員が約三分の一という職場もあるようです。正規教職員を増やし、先生たちが授業準備や教材研究ができる時間を保障することによって、ゆきとどいた教育が進められるようにしたいものです。

みんなの教育・ふじさわネット

学習会と第10回総会

日時 2018年1月28日（日）
13:30 ～ 16:00

会場 藤沢市民会館第2会議室

第一部 学習会

揺れる“教科書採択”
～教育現場で何が

「クローズアップ現代＋」を視聴し教科書や教育のことを話し合いましょう。

第二部 総 会

2017 年度活動報告
2018 年度活動方針
会計報告と予算・
役員人事など

☆<u>学習会資料代</u>　会員の方は無料です。
会員でない方は 500 円をお願いします。

☆<u>みんなの教育・ふじさわネットの会費 1000 円（1年）</u>は総会で納入してください。欠席などの場合は、ネット通信に同封した「払込取扱票」をご利用ください。ゆうちょ銀行または郵便局の ATM での払込みで 80 円の手数料がかかりますが、ご協力をお願いします。（窓口では 130 円になります）